

第24期第6回 地球惑星科学委員会 SCOR分科会 議事録

日時：2019年7月4日（木）15:00-17:10

場所：東京大学理学部 1 号館851室

出席者：山形俊男（委員長）、青山道夫、植松光夫、沖野郷子、蒲生俊敬、川口慎介、窪川かおる、白山義久、張 勁、新野宏、花輪公雄、原田尚美、日比谷紀之、益田晴恵(Skype)、升本順夫（五十音順）

欠席者：齋藤文紀、野村大樹、古谷研、渡邊良朗

議事：

1. 前回議事録の確認
第4回（12月25日）議事録を確認、第5回（メール審議、5月20日～23日）の議事録を承認した。[資料1-1, 1-2, 1-3]
2. SCOR WG提案の評価
6件の提案を19名の委員が3件ずつ事前評価した結果に基づき、評点が高かったC-GRASS、DISCOVER-Cの2件、および次点であるDeepSea-Decadeを中心に議論を行った。その結果、日本SCORからはC-GRASSとDISCOVER-Cを優劣つけがたく同点として推薦することとした。議論の内容を踏まえ、蒲生委員と山形委員長がSCORへの最終的なコメント文を作成し、SCOR事務局に提出する（提出期限8月15日）。なお、SCOR年会において、どうしても順位をつけなければならない場合は、Mustの数が多く評点がわずかに高かったC-GRASSを日本SCOR として1位とする。[資料2-1（非公開）、2-2（非公開）]
3. SCOR年会準備状況
 - ・ 張委員から、9月22日-25日に富山で開催されるSCOR年会の日程案および準備状況について説明があった。Web上に25日午後にExecutive Committeeがあると掲載されているのは22日午前の間違いである。分科会委員のオブザーバー参加を歓迎するので、参加者は事前登録すること。[資料3-1, 3-2, 3-5]
 - ・ 升本委員から、SCOR年会最終日の9月25日午後に開催されるSCOR-海洋学会合同シンポ「日本の海洋科学：現在と将来」のプログラム案と準備状況の説明があった。使用言語は英語とする。プログラム案中の大学英語名の間違いが指摘され（University of Toyama, University of Tsukubaが正しい）、修正することとした。[資料3-2, 3-3, 3-8]
 - ・ 同シンポについて、JAMSTECと東大大気海洋研究所に後援依頼の打診をすることとした（担当：山形委員長、沖野委員）。また、富山の年会をもって退任するSCOR事務局長のEd Urban氏に対し、SCOR分科会有志として記念品を贈呈することとした。
 - ・ 張委員から9月22日午後に開催予定のSCOR-富山県のジョイントシンポジウムプログラム案が示された。基調講演は英国PMLからVictor Martinez Vicente博士を招へいし、同時通訳付である。基調講演が長すぎるのではないかと意見が提出され、議論の結果、講演時間を短縮することにした。[資料3-4]
 - ・ 張委員から、SCOR年会に引き続き行われる日本海洋学会において、SCOR-GEOTRACESジョイントセッションが行われる旨の紹介があった。[資料3-5]
 - ・ 張委員から、昨年のSCOR年会の議事と参加者について資料説明があった。[資料3-6, 3-7]
4. 小委員会報告
 - ・ 張委員から2月22日に行われたGEOTRACES小委員会の報告があった。[資料4-1]
 - ・ 山形委員長およびISC/RCAP議長の植松委員から、SIMSEA小委員会および5月11日、12日に北京で開催されたSMISEA SCの状況報告があった。日本から東工大の灘岡和夫教授がSCメンバーに就任された。国内小委員会は開催していない。
 - ・ 升本委員から、2月14日に行われたIIOE-2小委員会の報告があった。役員選出、白

鳳丸・みらいのインド洋航海の紹介，国際的に作成中のレビューペーパーへの貢献等を議論した．プログラムは2020年終了だが，延長を検討中である．議事録は学術会議事務局に提出済み。

5. 学術の動向
蒲生委員より，準備中の「学術の動向」の特集「研究船による海洋観測」について進捗状況の説明があった．12月に実施したシンポジウムの記録のみでなく，一般社会への還元と言及する形の特集とすることが決定し，講演者等に原稿依頼がされた．11月出版予定．[資料5-1]
6. 共催シンポジウム
窪川委員より，海洋生物学分科会と当分科会の共催で，「国連の持続可能な海洋科学の10年-One Oceanの行動に向けて」シンポジウムを開催する準備中との報告があった．11月6日に開催予定．ターゲット層を明確にしてプログラムを検討すべきとの意見が出た．SCOR分科会からは蒲生委員が担当し、海洋生物学分科会委員長でもある窪川委員と調整していくこととした．[資料5-2]
7. SCOR分担金
SCOR分担金の現状について張委員から説明があり，次回の富山の年会において山形委員長から分担金の在り方について意見を述べることにした．

以上

資料

- 0-1 第24期 地球惑星科学委員会 第6回SCOR分科会 開催通知
- 1-1 第24期 地球惑星科学委員会 第4回SCOR分科会 議事録
- 1-2 第24期 地球惑星科学委員会 第5回SCOR分科会 メール審議 議事次第
- 1-3 第24期 地球惑星科学委員会 第5回SCOR分科会 メール審議 議事録
- 2-1 2019.6 SCOR-WG評価ランク表
- 2-2 2019.6 SCOR-WG評価コメント集
- 3-1 2019_SCOR_Agenda
- 3-2 SCOR+JOS program_Jun25
- 3-3 2019_SCOR-JOS合同シンポジウム
- 3-4 富山県とSCORの共催シンポジウム
- 3-5 2019_SCOR-GEOTRACES Joint English Session
- 3-6 2018_SCOR_Agenda
- 3-7 2018_SCOR Participants List
- 3-8 海洋学会秋季大会スケジュール20190621
- 4-1 GEOTRACES小委員会 議事録（第24期第1回）
- 5-1 学術の動向 2019.5.16最終目次
- 5-2 シンポジウム案「国連の持続可能な海洋科学の10年」
（参考）SCOR-海洋学会合同シンポ ポスター案